

第 5 次加西市総合計画（案）の骨子

第 1 部	序論	2
1.1	趣旨	
1.2	構成と目標年次	
1.3	加西市の概要	
1.4	加西市をとりまく社会の動き	
1.5	まちづくりの課題	
第 2 部	基本構想	7
2.1	基本目標	
2.2	基本政策	
	・ 人づくりの視点	子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西
	・ 産業の視点	雇用と経済が元気を取り戻す加西
	・ 暮らしの視点	誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西
	・ 環境の視点	地球に優しい環境社会をつくる加西
2.3	将来人口	
2.4	土地利用	
2.5	計画実現に向けて	
	・ パートナーシップの視点	住民参加とパートナーシップの推進
	・ 行財政運営の視点	健全な行財政運営の確立
2.6	政策・施策の体系	
2.7	予算編成との連動	
2.8	評価・検証	
第 3 部	基本計画	
第 1 章	～ 第 6 章	政策、施策ごとの実施事業
第 4 部	資料	

以上を 100 頁以内にまとめる。

1 計画策定の趣旨

総合計画とは、加西のまちづくりの基本となる最も重要な計画で、様々な計画の上位計画となるものです。市の将来像とその実現に向けて、市役所をはじめ市民、企業、NPOなど、加西市内の様々な主体が、これから取り組むべき方向を示すものです。

少子高齢化問題や地球温暖化問題などに象徴されるように、今の産業・経済システムは大きな転換期を迎え、将来予測とその対応には長期の展望が求められる時代となっています。

今回策定する「第5次加西市総合計画」は、このような社会情勢の変化を背景に、複雑・多様化する地域のニーズや市民意識の変化を踏まえ、改めて都市づくりの方向を問い直し、加西のありべき姿を30年先に見据え、そこからさかのぼって到達すべき最初の10年間のやるべきことまとめ上げたものです。

第5次総合計画は、市民参加による市民提案型の計画づくりをもとに、人々が暮らしやすい、住みたいと感じるまちづくりを目指して、市民と行政の知恵を集結しながら、「地域」主体の未来像を提案し、その実現を目指すものです。

未来から今を創造する

やるべきこと できることを示す

市民みんなの計画

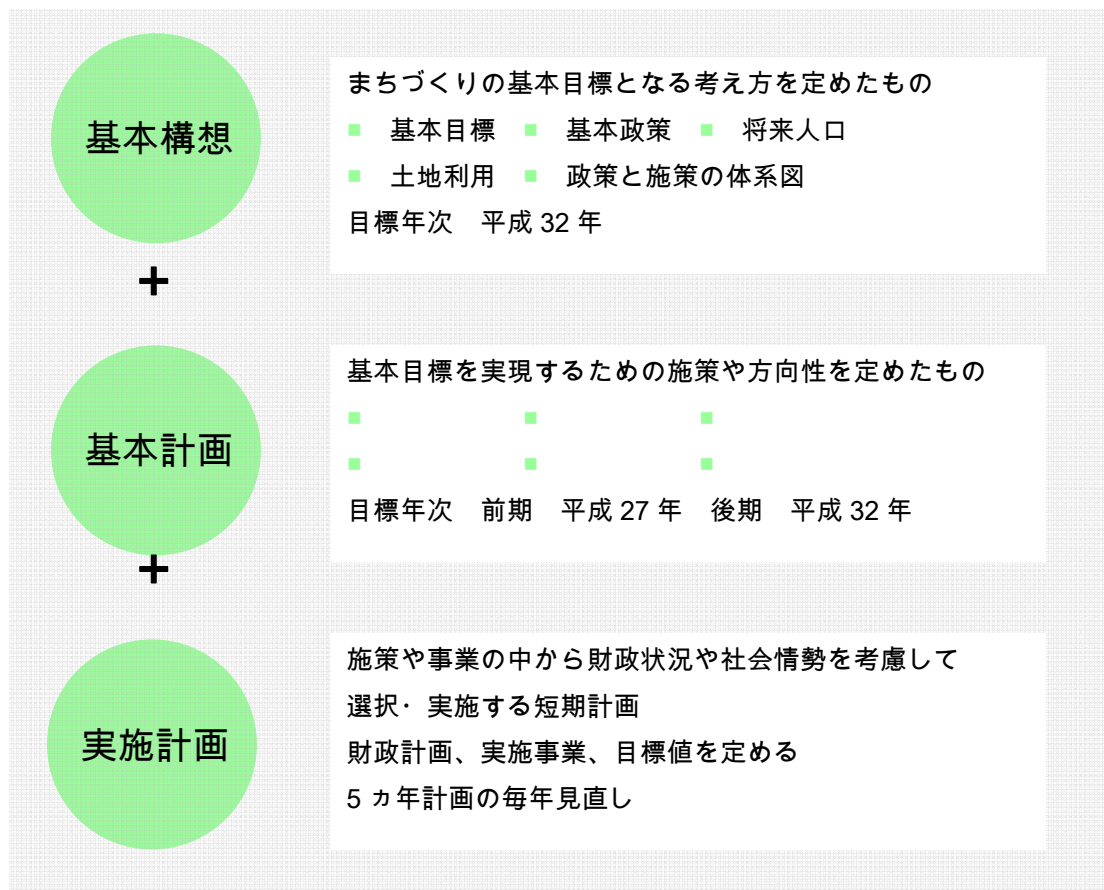
2 計画の構成と目標年次

第5次加西市総合計画は、基本構想、基本計画、事業実施計画によって構成されています。

基本構想は市の将来像と基本的な方向性を明らかにしたものであり、加西がめざすべきまちづくり像について書かれています。平成32年度を目標年次とします。

基本計画はそのめざすべき姿を実現するための具体的な施策を分野別に整理して体系的に示したものです。基本構想の期間のうち平成27年までの5年間を前期とし、それ以降を後期に分け、中間年度（平成27年度）において見直しを行います。

事業実施計画は基本計画に示した施策や事業の中から財政状況や社会情勢を考慮して選択し、実施する計画であり毎年予算の指針となるものです。毎年向こう5カ年の計画として毎年見直しを行います。



4 加西をとりまく社会の動き

(1) 少子高齢化の進展

我が国の総人口は平成16年(2004年)の約1億2,780万人をピークに減少局面に入り、今後本格的な人口減少社会を迎えることとなります。加西市の平成15年の総人口は51,426人(10月1日現在 住民基本台帳人口及び外国人登録者数)でしたが、以降は減少傾向にあり、平成21年には48,774人(10月1日現在)となっています。また、高齢化率の上昇(平成15年は21.4%、平成21年は24.9%)と、全国平均に比べて低い合計特殊出生率(平成20年は1.15、外国人を除くと1.21)が示すように、少子高齢化は加西において深刻な問題となっています。

(2) 地球環境への関心の高まり

地球温暖化防止、循環型社会の構築、自然環境の保全・再生等、環境への国民の関心が高まっています。特に地球温暖化の進展は、地球レベルでの気温・海水面の上昇、洪水・高潮、干ばつ等の異常気象の増加等の広範な影響を及ぼすと予想されています。

環境問題の解決に向けて、産業部門や行政の努力だけでなく、市民一人ひとりが限りある資源やエネルギーの有効活用、貴重な自然環境の保全について考え、足元からライフスタイルを見直していくことが求められています。

(3) 新たな支えあいの創造

社会の成熟化、社会への貢献意識の高まり、価値観の多様化等により、NPO認証数の増加とボランティア活動の拡がりが見られます。このような背景の下、従来行政が担ってきた範囲にとどまらず、新たな公共の役割をNPO、ボランティア団体、企業など多様な主体が担いつつあり、市民参画の拡大が見られます。また、地域の課題を市民自ら主体的に解決していくための仕組みづくりが必須であるとともに、地域性を重視した施策の展開、様々な市民活動への支援、人材育成やネットワークづくりなどが求められています。

(4) 地域主権の時代

本格的な地方分権の時代に突入し、地方自治体においては地域の個性を生かしたまちづくりが必要です。地域のことは地域で責任を持って決める自治を推進するため、市民や企業と行政が連携してまちづくりを進めることが求められています。

加西市においては、厳しい財政状況の下、地域主権の確立に向けた財政規律の維持と効率的な行政運営が求められるとともに、市民の視点にたった目標をかけた実行するための仕組みづくりに取り組む必要があります。

5 まちづくりの主な課題

住民によるまちづくりについては、一般市民40人で構成する市民参画ワークショップや、市内で活動する様々な団体へのグループインタビュー、市役所内プロジェクトからの意見をもとに、主なものを以下のとおりにまとめました。

課題1 人づくりの視点

- ・ おとなも子どもも、地域と、地域の資源に誇りを持てるような教育をしたい。
- ・ 文化活動にもっと力を入れて行きたい。
- ・ おとなも子どもも高齢者も、全ての世代が共に過ごし共に育む環境をつくりたい。

課題2 産業の視点

- ・ 特産品を開発して「かさい」をブランド化したい。
- ・ 若い農業生産者を育てたい。
- ・ 様々な企業、団体、住民が農業に関わって「集落力」を復活させたい。
- ・ 自分のやりたい仕事に就くための環境と情報を整えたい。

課題3 暮らしの視点

- ・ 子育て世代に住んでもらえるようなまちにしたい。
- ・ 通勤、通学や買い物、通院への交通を便利にしたい。
- ・ 高齢になっても健康を保ち、自分の家や地域で暮らし続けたい。
- ・ 気軽に立ち寄れる地域の交流の場をつくりたい。

課題4 環境の視点

- ・ 身近な自然環境にふれる機会を増やしたい。
- ・ エネルギー自給力のある地域づくりを進めたい。
- ・ 環境教育にもっと取り組みたい。

上記4つの課題を解決するには、住民自らが自身の課題として捉え、積極的に関わっていく住民参加によるまちづくりが必要です。課題5では、この点に関してグループインタビューやワークショップの中で出された主な意見をまとめました。

課題5 住民参加による課題解決

- ・ 女性の視点をもっとまちづくりに取り入れたい。
- ・ 若者が主体的にまちづくりに参加できる環境をつくりたい。
- ・ 地域コミュニティ、企業、ボランティア、市民活動団体などのネットワークを広げたい。
- ・ 様々な文化を理解し、共感できるまちにしたい。

【第3部 基本構想】

1 基本目標 加西の元気力 加西ならではの元気力の追求

総合計画の基本目標とは、私たちみんながめざす加西のあるべき姿です。同時に将来に向かって、わたしたち一人ひとりがそうありたいと思う姿です。

今日よりも明日がさらによい日であるように、将来も健康で、みんなの元気が加西にあふれるまちをめざしていきます。

加西を元気にするには、今ある地域資源を再発見し、活用することも大切です。今ある地域資源とは農産物や歴史遺産や観光資源だけではありません。地元企業の技術力や地域の人材も重要な地域資源です。もちろん、市役所の力だけで加西の元気は再生できません。

「加西ならではの元気力の追求」に向けて、市役所をはじめ市民、企業、NPOなど、加西市内の様々な主体が手を取りあって、住民参加によるパートナーシップのまちづくりを進めていきます。

2 基本政策 (4つの視点)

加西がめざすまちの将来像(基本目標)を実現するために次のとおり4つの視点から基本政策を掲げます。基本政策は、基本目標を実現するための政策と、具体的な事業の集まりである施策を整理分類する枠組みです。

人づくりの視点

子どもが元気に育ちいきいきと活動する加西



産業の視点

雇用と経済が元気を取り戻す加西



暮らしの視点

誰もがみんな元気で安心して暮らせる加西

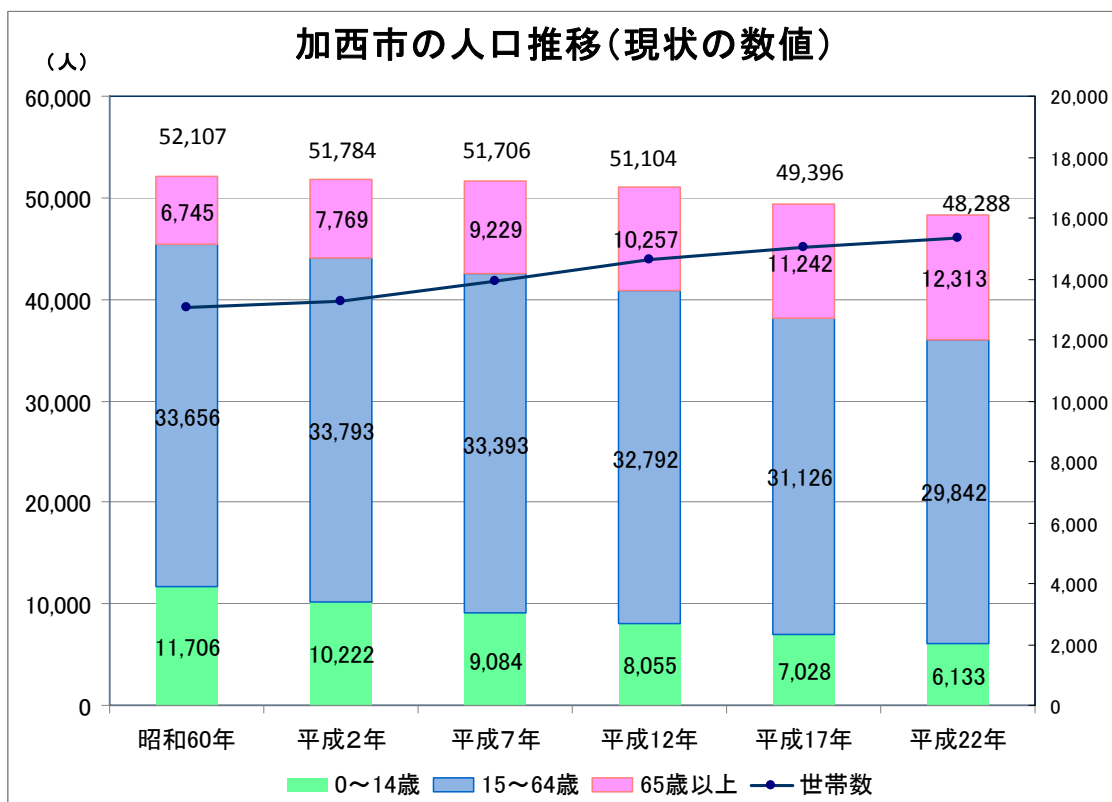
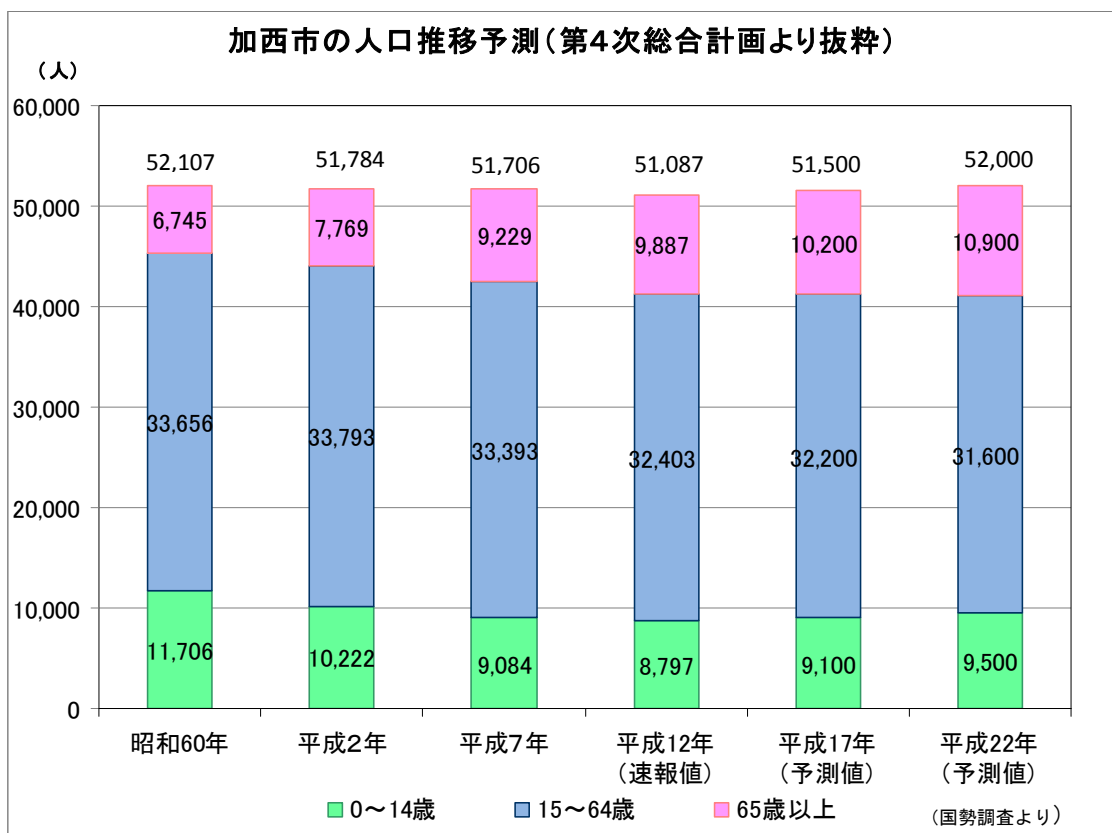


環境の視点

地球に優しい環境社会をつくる加西

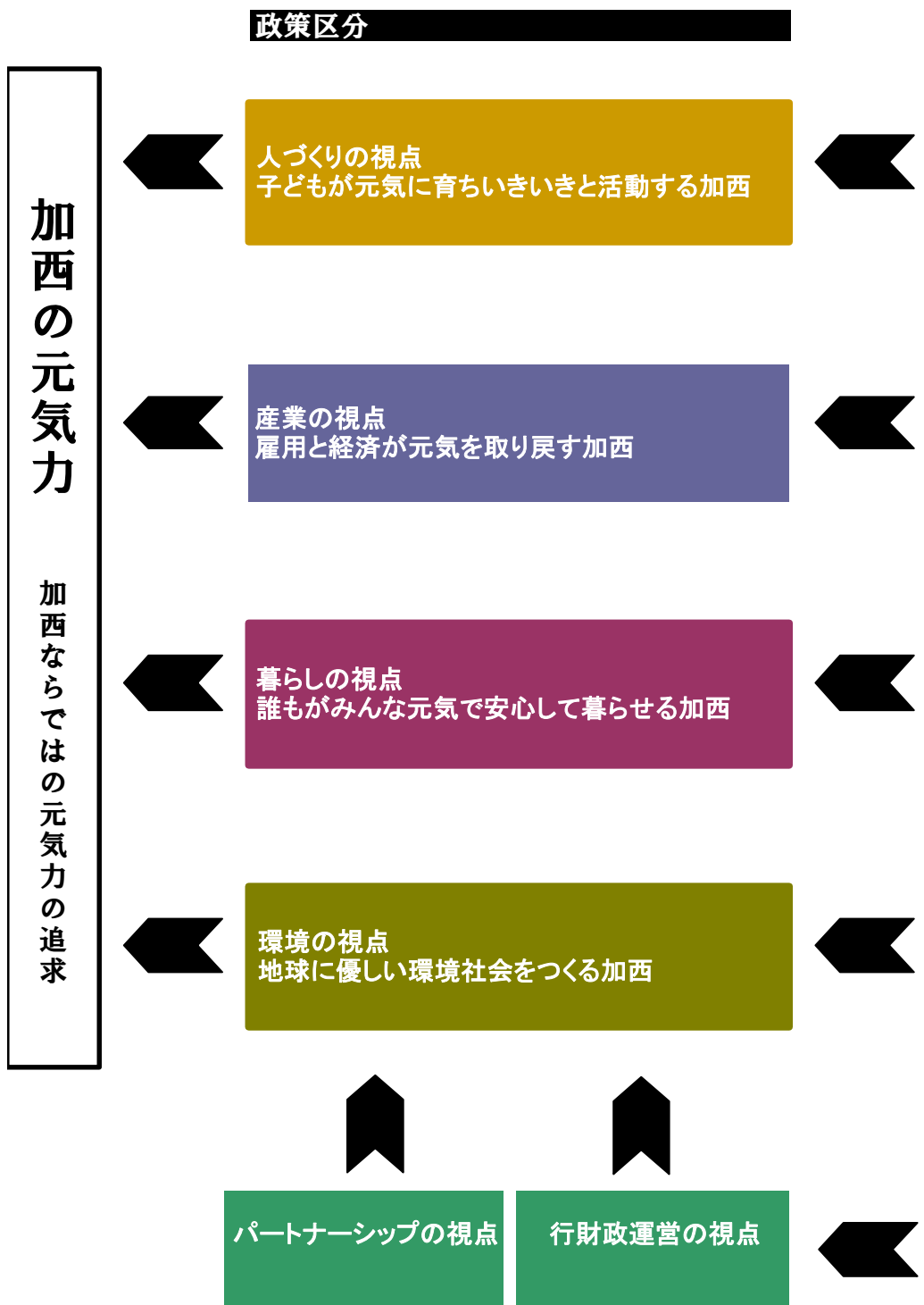


3 将来人口



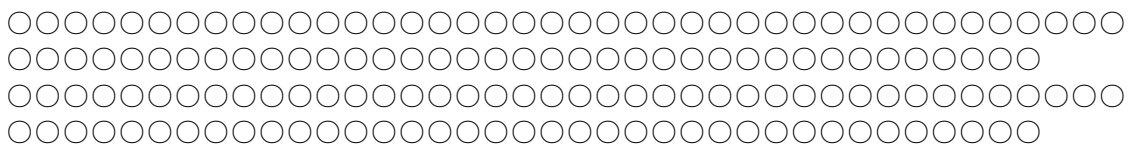
6 政策と施策の体系

政策と施策の体系図(案)



政策(案)	施策区分
明日を担い、未来へつなげる人づくり	青少年の育成、生涯学習、人権教育、生涯スポーツ、芸術文化 ……
地域の特性を活かした家庭・学校・地域の輪づくり	学校教育、地域ぐるみの子育ての促進、子育て家庭のエンパワーメント 地域コミュニティの活性化 ……
地域の豊かさと元気を取り戻す産業づくり	農林業、工業、商業・サービス業、観光産業、雇用対策 市民・企業との連携によるまちづくり…
都市の魅力と快適さを高めるまちづくり	都市の魅力づくり、優良な住宅地、公園活用、道路改修、公共交通 情報通信 ……
最期まで元気に暮らせる健康づくり	健康づくり、生活習慣病予防、病院医療、高齢者福祉、介護保険 障がい者福祉 年金、社会保障 ……
安全と安心を実感できる暮らしづくり	消費者相談、災害対策、防犯活動、交通安全対策 消防 救急体制の充実…
自然環境の保全と加西の特色ある景観づくり	森林やため池など自然環境保護、公害対策 景観のまちづくりの推進 ……
循環型社会を目指す生活環境づくり	家庭や事業所での地球環境対策の推進、ごみ減量、資源リサイクル 自然を活用した新エネルギー利用、温暖化対策 ……
市民参画・男女参画で地域を元気にする加西	多文化共生 男女共同参画 市民参画 まちづくり協議会 新たな公共の担い手づくり、公民連携 ……
健全な行財政運営の確立	公共サービスの向上、行財政運営 ……

7 予算編成との連動



8 評価・検証

施策ごとに施策の目的や目標を明らかにするため、施策の「めざす姿」と、その達成度を具体的に測るため、「成果指標」を設定しました。施策を展開することによる効果は、多様な面を有しており、絶対的な評価はありません。また、市の活動だけでなく国・県・他の自治体や市民・事業者などの活動や連携・協働により、はじめて効果が生じる施策も数多くあります。

このため、基本計画に掲載している「成果指標」については、施策の「めざす姿」を評価する一側面をとらえているものであり、その中から代表的なものを選定しました。

「成果指標」は、原則として平成21年度を基準値とし、平成27年を中間目標、平成32年を最終目標として定め、施策分野別の基本計画における○の施策に全○指標を設定しています。

この総合計画では「成果指標」を目安に評価・検証を行い、その結果を市の取り組みに反映していきます。